

新型コロナウイルス感染症対策に係る 熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル2**とします。

1 リスクレベル判定指標

指標	前週（8月3日）	今週（8月10日）
最大確保病床利用率	68.5%	73.1%
最大確保重症病床利用率	17.6%	26.5%

前回（8月5日発表）	今回（8月12日発表）
レベル2	レベル2

2 感染概況と注意が必要な地域

	前週（8月3日）	今週（8月10日）
新規感染者数	25,846人	26,071人
感染の傾向	増加傾向にある	増加傾向にある

※感染者数自体は横ばいだが、
検査陽性率等から判断

本県の新規感染者数は、依然増加傾向が継続していると考えられます。お盆期間中の人の移動の増加が見込まれることから、誰もがどこで感染してもおかしくない状況が継続しています。

注意が必要な地域 (保健所管轄地域)	県内全域
-----------------------	------

3 県民の皆様へのお願い

「熊本BA.5対策強化宣言」を発令しています。「大切な5つを守る」感染対策をはじめとした対策に御協力をお願いします。

現在、医療機関への負荷が高まっているほか、お盆期間中は受診できる病院に限られる可能性もあります。平日の昼間の診療時間内に受診をする適正受診や、医薬品・食料品の日ごろからの準備に御協力をお願いします。また、夜間等に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合、#7400(夜間)や#8000(子ども)へのご相談をお願いします。

帰省される場合は、事前にワクチン接種や検査を受けていただくほか、県外からの帰省等がある場合は、同じ対応を働きかけていただきますようお願いいたします。

熊本県 健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：錦戸、横山、中満、吉岡
電話：096-333-2239
(内線) 5931、5933

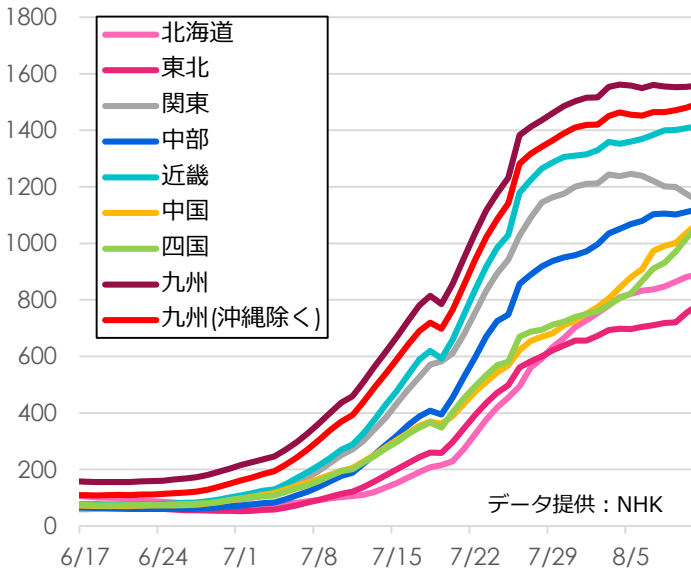
熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）8月12日】

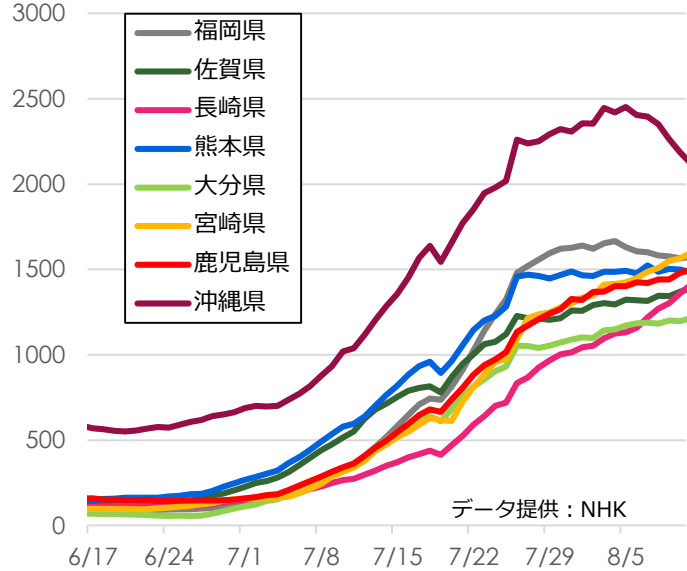
1 熊本県における現状認識

(1) 新規感染者数の状況

全国の感染者数推移
(地方ごと・人口あたり週感染者数)

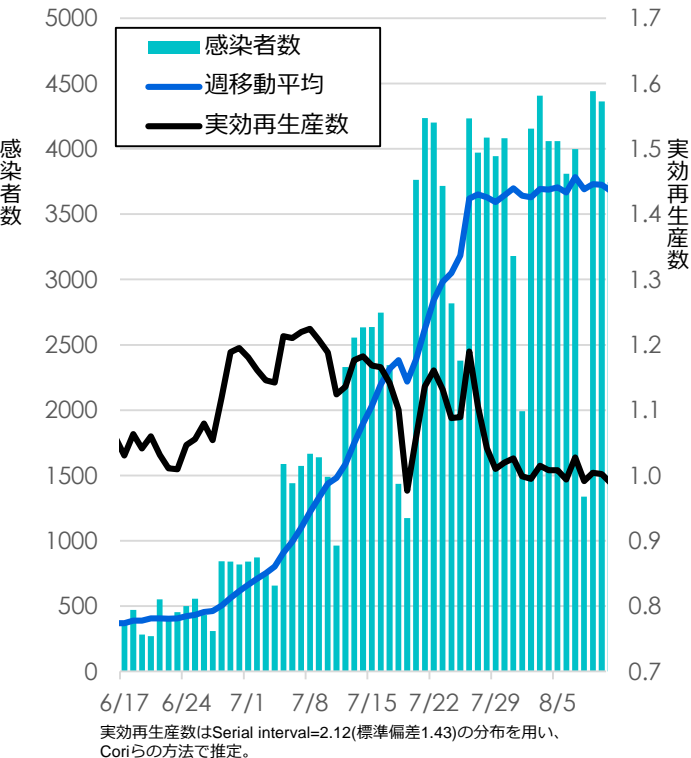


九州地方の感染者数推移
(人口あたり週感染者数)

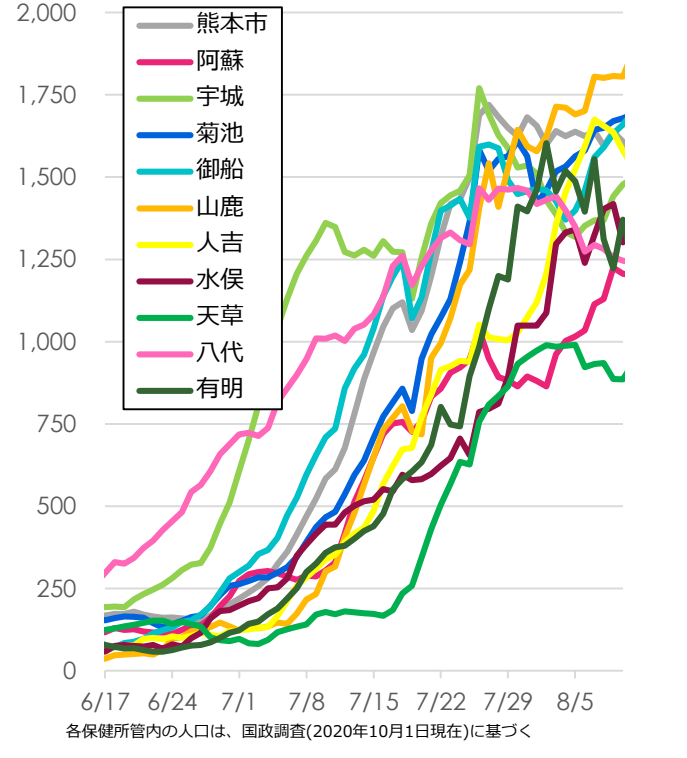


感染者数は、関東地方や沖縄県では減少が見られているが、全国的には増加傾向が継続しており、過去最多の状況。

本県の感染数推移と実効再生産数



保健所ごとの人口10万人当たり週感染者数推移

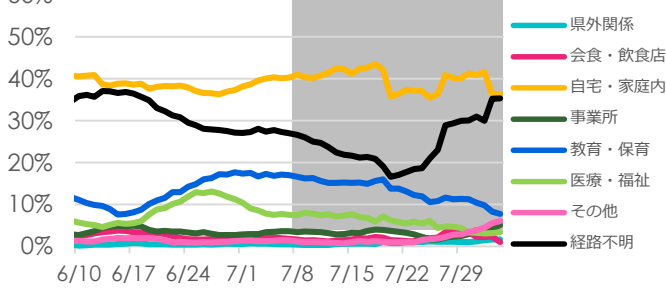


本県の8月4日から8月10日までの新規感染者数は26,071人(前週は25,846人)。実効再生産数は8月10日の時点で1程度だが、状況には注視が必要。全地域において感染者数は非常に多い状況が継続しているが、八代保健所管内は減少が見られているほか、有明保健所や天草保健所管内は横ばいに推移しつつある。

(2) 感染の態様

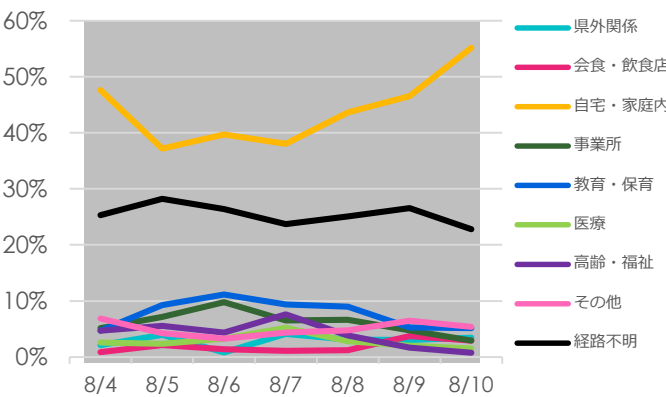
【参考】感染者の感染経路割合推移

調査完了又は回答のあったものを集計
8/3まで。調査票から集計。



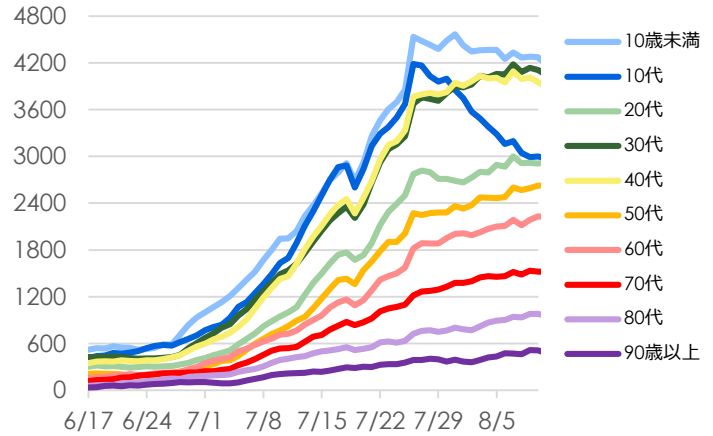
グレー背景は参考値(調査未完了のものが半数以上)

8/4から。陽性者への聞き取りから集計。

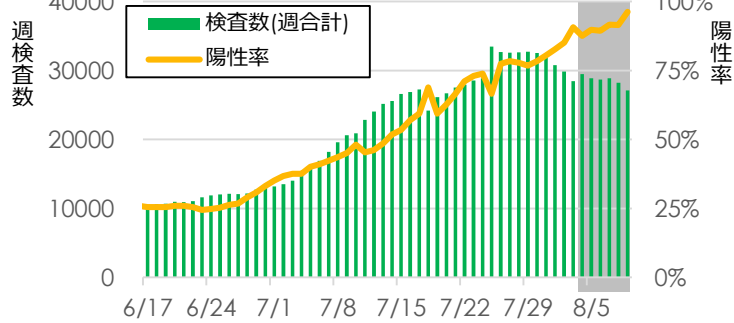


グレー背景は参考値(未回答のものが半数以上)

年齢階級別分布(週合計)



週の検査数と検査陽性率



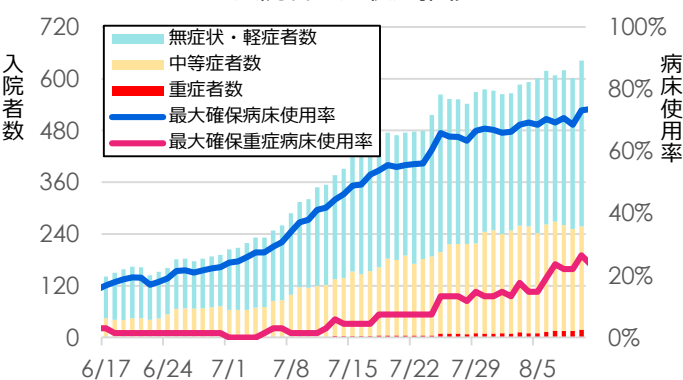
グレー背景は参考値(報告の遅れがある)

夏休みの影響もあり、10代の減少が引き続き見られている。検査数は高止まりからやや減少が見られ、診療・検査のひっ迫が継続していると考えられる。一方、検査陽性率の上昇は直近でやや横ばいへの推移が見られ、感染者の増加傾向が緩やかになっている可能性がある。現状としては、誰もがどこでも感染しうる状況が継続している。

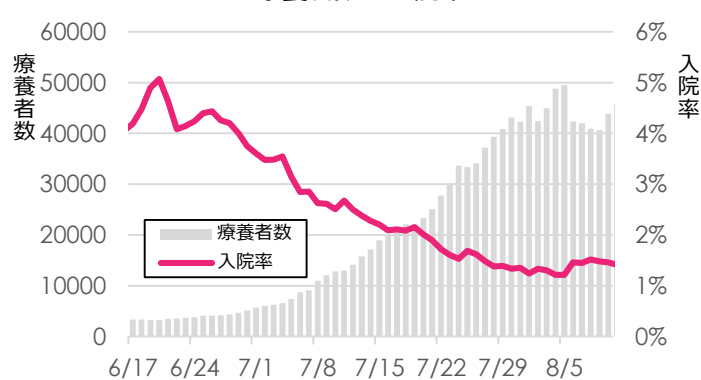
感染経路については、今週から集計方法を変更しており、SMSによる聞き取りに回答のあった陽性者の情報を集計している。回答のあった3,864件からの推定(全体の14.8%)であるほか、SMSの使用に慣れていない高齢者では回答率が下がることが考えられるため、参考情報とする。

(3) 病床等の状況

入院者の症状別推移



療養者数と入院率

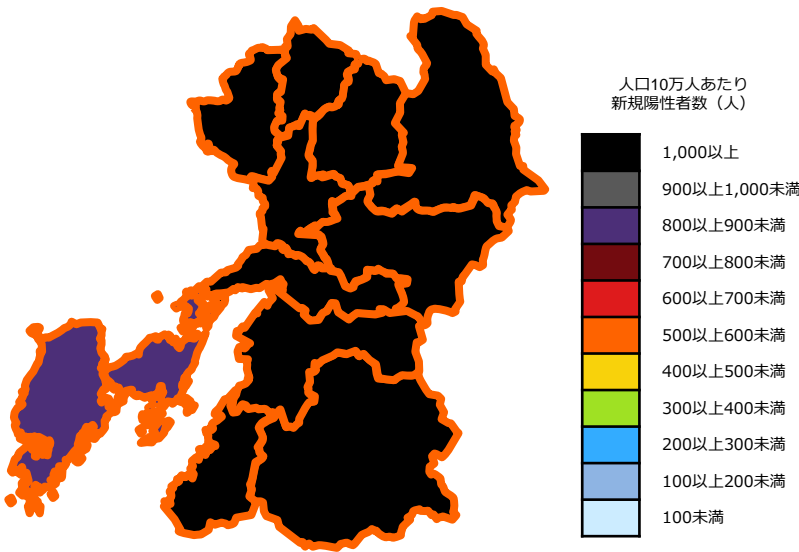


8月10日時点の病床使用率は73.1%、重症病床使用率は26.5%と、先週からそれぞれ4.6ポイント、8.9ポイント増加が見られている。感染者数が高止まりしていることから、療養者数には減少が見られているが、診療・検査限界に達していると考えられるため、病床使用率が短期的に改善する状況ではないと考えられる。

(4) リスクレベル判定

	8月10日	レベル0 感染ゼロ	レベル1 維持すべきレベル	レベル2 警戒強化レベル	レベル3 対策強化レベル	レベル4 避けたいレベル
病床使用率	73.1%	県内で継続的な感染 が起こっていない	—	20%	50%	最大確保病床数を超えた 数の入院が必要
重症病床使用率	26.5%		—	—	50%	

(5) 注意が必要な地域の概況



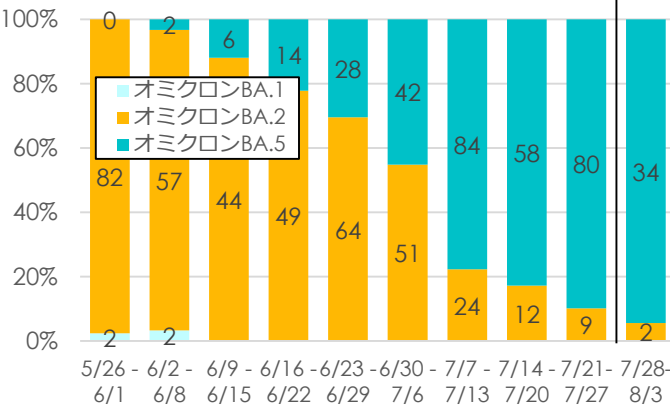
保健所名	8/4~8/10	
	新規陽性者数	人口10万人※ ¹ あたり
熊本市保健所	11,882	1608.1
有明保健所	2,109	1370.7
山鹿保健所	885	1805.2
菊池保健所	3,134	1678.5
阿蘇保健所	708	1206.1
御船保健所	1,361	1659.9
宇城保健所	1,515	1477.4
八代保健所	1,672	1246.3
水保保健所	566	1301.4
人吉保健所	1,288	1580.8
天草保健所	951	885.0

※1 各保健所管内の人口は、国政調査(2020年10月1日現在)に基づく

全地域：人口10万人当たりの感染者数が概ね1,000を超えている。

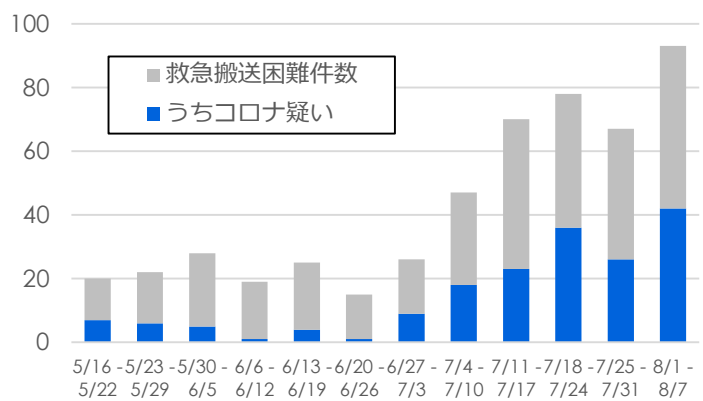
【参考】ゲノム解析の結果概要

※結果判明までのタイムラグがあるため、日付が近い値は変動する。



【参考】救急搬送困難件数

※熊本市消防局から総務省への報告数。



【参考】医療提供体制、感染状況に関する参考指標

時点	医療負荷の参考指標					感染状況の参考指標					
	療養者数	入院率 ※1	重症者数	中等症者数	救急搬送困難件数 (うちコロナ疑い事案)※2	必要病床数予測※3			検査陽性率※4	感染経路不明割合	新規感染者数 今週/前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
8月10日	43,875人	1.5%	18人	240人	93 (42)	1,592	2,806	3,362	96.2%	25.5%※5	1.0
8月3日	44,960人	1.3%	12人	247人	67 (26)	1,525	2,636	3,133	86.3%	35.3%	1.0
7月27日	37,199人	1.5%	9人	208人	78 (36)	1,474	3,400	5,713	78.4%	29.1%	1.5
7月20日	23,344人	2.0%	5人	175人	70 (23)	1,024	2,080	3,154	62.7%	23.4%	1.4
7月13日	15,788人	2.4%	4人	131人	47 (18)	742	1,855	3,496	48.6%	24.7%	1.8
7月6日	8,721人	2.8%	2人	83人	26 (9)	456	1,072	2,028	41.1%	27.6%	1.8
6月29日	4,700人	4.0%	1人	69人	15 (1)	293	522	784	30.9%	27.8%	1.4
6月22日	3,530人	4.1%	1人	40人	25 (4)	184	302	378	25.5%	31.4%	1.1

グレー背景は参考値。

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上(174人)の場合に適用。

※2 その時点で消防庁にて公表されている直近1週間の熊本市消防局の値。

※3 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール(国立感染症研究所)の短期予測を用い、本県のデータを用い算出。(感染が急激に増加する場合は、パラメータを調整する場合がある)

※4 新規感染者数(公表日ベース)及び県内の全検査数の1週間合計より算出。診療・検査のひっ迫による報告の遅れがあるため、直近の暫定値は参考値扱い。

※5 8月4日以降の数値は、陽性者への聞き取りを集計し算出。回答のあった3,864名の調査結果から算出したもの。22,207名分は分母に含まれないため、参考値とする。(8月3日以前は保健所の疫学調査により算出。調査未完了のものが多い週を参考値としている)

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (8月11日現在)

- 熊本県の新規感染者数は、数値上は高止まりで横ばいの状況である。しかし、検査のデータを見ると、検査数は減少が見られ、陽性率は直近で横ばいの兆しが見られており、感染増加の勢いはわずかに弱まっていると考えられるものの、依然増加傾向にあると考えられる。また、病床使用率は非常に高い値で、重症病床使用率も高まりつつあり、医療への負荷が非常に高まった状態が継続している。
- 熊本県の感染状況は油断のできない状況が継続しているが、全国的にBA.5系統の流行はピークに達したとの考え方が示されつつある。強い行動制限を行っていないことや、他国のこれまでのピークを踏まえると、現在の感染者数の水準は、予想よりも低く抑え込まれていると考えることもでき、皆様の基本的感染防止対策が反映されていると考えられる。
- 一方、お盆の影響で人の移動が増加すると、現状から更に感染者は増加することが予想される。ゴールデンウィーク後も一過性の感染者の増加が見られたが、当時と異なり、現在、医療への負荷がこれまでになく高まっているため、こうした感染者の増加を受け止められる余裕が乏しい状況にある。
- 時候柄、熱中症や水難事故、食中毒等のリスクも高まっている。命の危険がある場合には、救急医療を利用する必要があるが、医療機関のひっ迫状況によっては、こうした対応にも影響が出ることも考えられる。県・熊本市においては、県民・市民が適切に救急医療を使用できるよう、夜間相談事業(#7400)や子ども相談事業(#8000)の周知をしっかりと行ってほしい。
- なお、先週、日本感染症学会、日本救急医学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本臨床救急医学会が4学会連名で「限りある医療資源を有効活用するための医療機関受診及び救急車利用に関する4学会声明」を公表した。これによると、65歳未満で基礎疾患や妊娠がなければ、新型コロナウイルス感染症を疑う症状があっても、【飲んだり食べたりできる、呼吸が苦しくない、乳幼児で顔色が良い】場合は、慌てて検査や受診をする必要はないとされた。これは非常に大事な視点であり、お盆で医療機関が受診しにくい場合も、こうした知見を踏まえ、落ち着いた対応をお願いする。なお、この知見は接種対象者はワクチン接種済みであることが想定されているため、ぜひワクチン接種も済ませておいていただきたい。
- 今年のお盆で帰省や旅行、久しぶりに会う親戚との行事等を検討されている方は、こうした情報や、解熱剤等を準備のうえ、新型コロナウイルスへの感染はもちろん、あらゆる健康危害に留意し、安全に過ごしていただくようお願いする。

3 県民の皆様へのお願い（8月12日発表）

熊本県リスクレベルは、レベル2です。また、感染状況は増加傾向にあります。

熊本BA.5対策強化宣言

令和4年8月2日(火)～

医療提供体制を守り、社会経済活動を継続できるよう、
県・県民・事業者が一丸となって対策を実施しましょう。

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク（不織布マスクを推奨。以下同じ）着用
- ② こまめな換気、手洗い・手指消毒
- ③ 発熱時は仕事等を休み、かかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用を推奨する場面※は次のとおりです。
 - 屋内において、他者と距離（2m以上を目安）がとれない場合
 - 屋内において、他者と距離がとれるが会話を行う場合
 - 屋外において、他者と距離がとれず会話を行う場合
 - 重症化リスクの高い者と接する場合
- ・換気、手洗い、人と人との距離の確保等を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

※…特に夏場については、マスク着用が必要ない屋外の場面では、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨。
また、就学前の子どもは、2歳未満では着用が推奨されないほか、2歳以上であっても周りの大人が子供の体調に注意したうえでの着用が必要。

【大切な5つを守る】感染対策の実施をお願いします

日常を守る

エアコンをつけていても定期的に換気



熱中症には注意し会話する際はマスク着用



わずかで体調に異変があれば外出を控える



買い物はなるべく混んでいない時間に



会食はなるべく普段一緒にいる人と人数を絞って短時間で大人数は事前検査を



楽しい時間を守る

親族・友人の家への宿泊では換気・マスク着用徹底



カラオケはマスク着用普段会わない人とはなるべく控える



普段会わない人との旅行はなるべく延期



イベントは密にならない工夫や延期できるものはなるべく延期



高齢者等を守る

高齢者、基礎疾患のある方
出産間近の妊婦さんはなるべく外出や人との接触を控える
これらの方と会う際は特に注意



帰省時等に高齢者等と会う際は事前に検査やワクチン接種



子どもを守る

友人とのBBQ・ホームパーティー
会話する際はマスク着用



部活動前後の部室等での会話や友人の家で遊ぶ時はマスク着用



従業員/お客様を守る

在宅勤務やオンライン会議の活用
時差出勤の導入



会食の場では換気の徹底や座席を4人以下など工夫



大人数での会食参加者に事前検査を促す



入場者の整理など混雑回避の取組み



2 検査受検

発熱などの症状がある方

外出せず、かかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診してください。

発熱等がある場合



症状はないが、感染に不安を感じる方

県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、検査を受けてください。なお、無料検査は当面の間継続することとしています。

無料検査について



3 移動・外出

【移動】

- ・都道府県をまたぐ移動は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底してください。
 - ・帰省前等に、ワクチン接種の確認と、検査受検をお願いします。
 - ・旅行は感染対策を徹底し、わずかでも体調に異変があれば控えてください。
- ※沖縄県に移動される方は、その前にワクチン3回目接種又は検査で陰性を確認することに御協力をお願いします(沖縄県・国からの呼びかけ)。

【外出】

- ・マスク着用等の感染防止対策を徹底してください。
- ・感染リスクの高い「3つの密」のある場所への外出は自粛してください。

4 会食時は特に注意しましょう

- ・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- ① 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- ② なるべく普段から一緒にいる人と
- ③ 人数を絞って



- ・県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
- ・感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。
- ・飲食店を利用する場合、同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。 ※…認証店における会食を除く。
- ・宴会等はなるべく普段から一緒にいる人と行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。

熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ 2022年12月現在 4964-1315/2022

飲酒を伴う懇親会や大人数の飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場合に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなでお実践しましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認しましょう。
 - 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内とするようお店と相談しましょう。
 - ※ 認証店は除きますが、下記のような工夫で感染リスクを下げましょう。

席の配置を前後対称にする	アルコールも認識する	左記以外での会食

STEP2 会食前に下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手消毒を行い、マスクを着用したまま、すぐに着席しましょう。

STEP3 会食中に下げる！

- 食事中でも、会話をする際はマスクを着用しましょう。
 - 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や席の移動は控えましょう。
- 箸やコップの使いまわしは避けましょう。
- 深酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲食の密着で参加者の区分が高濃度、マスク無しの会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になってしまったら、早めにお開きしましょう。

STEP4 会食後に下げる！

- 長時間かつ深夜のほご酒は控えましょう。
- 帰宅後の手洗いなどにより、車内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 方々へ、発熱等の症状が出た場合は、すくじかかかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、軽率に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

5 飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】

- ・県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示してください。
- ・同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください*。

【認証制度】

- ・感染防止対策徹底のため「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

チェックリスト



認証制度



※…認証店における会食を除く。

6 イベント開催

- ・県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- ・参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率】の**いずれか小さい方**に制限してください。
- ・感染防止安全計画を策定するイベントについては、イベント開催日の2週間前までを目途に県に感染防止安全計画を提出してください（大声なしの担保が必要）。
- ・感染防止安全計画を策定しないイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表し、イベント後1年間保存してください。

	感染防止安全計画の策定あり	その他 (感染防止安全計画を策定しない)
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率	100%	大声なし：100%、大声あり：50%

イベントの開催制限について



「大声」：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。「大声あり」：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当
詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」を御確認ください。

7 医療機関の適正受診など

【適正受診】

コロナに関わらず、**緊急を要さない**と思われる場合は、平日の昼間の診療時間内に受診をするなどの御協力をお願いします。

【薬品・食料品の準備】

重症化リスクの低い方や軽症の方は、緊急受診しなくても良いよう準備を。

【夜間に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合】

下記への電話相談をお願いします。

子ども医療電話相談事業	# 8 0 0 0	平日：午後7時から翌朝8時まで 土曜日：午後3時から翌朝8時まで 日・祝日：午前8時から翌朝8時まで
夜間安心医療電話相談事業	# 7 4 0 0	毎日：午後7時から翌朝8時まで

事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・テレワークの推進等により出勤者削減(可能な範囲で目標を設定)への取り組み
- ・職場における感染防止のための取り組み(手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等)の徹底
- ・三つの密を発生させない取り組みへの協力
- ・従業員に対し、療養・待機期間解除後の念のための検査を促すことは控えて

保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取り組み(職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等)の徹底
- ・感染状況等に応じて臨時休園等の判断を速やかに行うよう市町村へ依頼
- ・保育所で希望する場合は保育士等に対する集中的検査の実施
- ・市町村の代替保育の実施を支援

学校

- ・文部科学省の「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止対策の徹底
- ・感染防止対策の徹底を依頼
- ・部活動において感染防止対策を徹底した上での活動を依頼
- ・小学校で希望する場合は教職員に対する集中的検査の実施

高齢者等施設

- ・従事者にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制の構築
- ・オンライン研修等による、感染防止対策の実施
- ・高齢者・障がい者等の施設の従事者に対する集中的検査の実施

その他

- ・保育所の保育士、小学校の教職員、高齢者施設等の従事者等が濃厚接触者になった場合に、早く職場に復帰できるよう検査の実施を支援

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがいつでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にないよう、お願いします。

また、県では、基本的な感染防止対策として、マスクの着用をお願いしているところですが、障がいや病気などの様々な事情でマスク着用が困難な方がいらっしゃいます。県民の皆様におかれては、このような様々な事情により、マスクをつけられない方がいらっしゃることをご理解いただきますようお願いいたします。

熊本市の状況と対策

熊本市においては、「熊本市医療非常事態宣言」を発令されておりますが、依然として感染拡大が継続し、医療提供体制に大きな負荷が生じています。

誰がどこで感染してもおかしくない状況の中、お盆の時期に帰省や旅行など交流機会が増え、感染リスクが更に高まる可能性もあります。

高齢者など重症化リスクが高い方を守るためにも、あらためて感染防止対策の再徹底や、医療機関の適正な受診など、一人一人のご協力が必要です。

【対策】

- ✓ワクチン接種の着実な実施（追加接種等）
- ✓保育所等・小学校・高齢者施設等の従事者に対する集中的検査 及び 同従事者が濃厚接触者になった場合の待機を早期に解除するための検査の支援
- ✓保育所等や学習活動、部活動、児童育成クラブ等における感染防止対策の徹底
- ✓熊本シティFM・街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
- ✓さらなる病床確保に努めるとともに、感染者が発生した高齢者施設等の要請に応じ、医療支援チームを派遣し、感染状況の把握と迅速な感染管理、医療介入を実施

【熊本市からの要請】

<市民の皆さまへのお願い>

- 高齢者など重症化リスクが高い方
 - ・ 高齢者や基礎疾患をお持ちの方 及び その同居家族は**感染防止対策の再徹底**をお願いします。
 - ・ 重症化を防ぐため、希望する方は**積極的なワクチン接種（4回目）**をお願いします。
- 上記を含む全ての市民のみなさま
 - ・ 発熱時には**平日の昼間の診療時間内に受診**するなど、**医療機関の適正な受診**をお願いします。**軽症の場合や検査目的での救急病院の受診はお控え**ください。
 - ・ 感染に備えて、**食料・日用品・市販薬等のご準備**をお願いします。
 - ・ 重症化リスクが高い方を守るため、特に若い世代で希望する方は**積極的なワクチン接種（3回目）**をお願いします。

<医療機関の皆さまへのお願い>

- コロナ診療を行っていない医療機関
 - ・ **発熱外来**にご協力をお願いします。
 - ・ **陽性患者の診療（外来・入院受入）**にご協力をお願いします。
- 既にコロナ診療を行っている医療機関
 - ・ **診療日、診療時間の拡大及びかかりつけ患者以外の受入**にご協力をお願いします。
 - ・ **入院病床の更なる確保及び休日夜間の受入体制の拡大**にご協力をお願いします。

本ページの内容の問い合わせ先

熊本市 新型コロナウイルス感染症対策課
問合せ先：岡島・田上・田口・富永
電話：096-364-3311